

第3回 読書活動推進アンケート 児童生徒版

201人回答

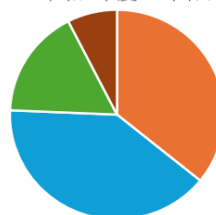
1 あなたは読書が好きですか。

好き	80人
どちらかという好き	71人
どちらかという嫌い	30人
嫌い	20人

3回目



令和5年度 1回目

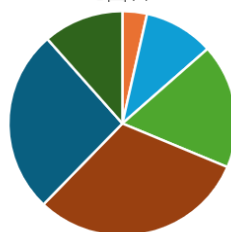


好き、どちらかという好きを合わせると全体の3/4が、読書に対して好印象を持っていることがわかる。この結果は第一回目のものと変化はない。

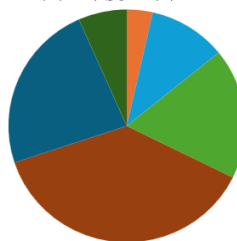
2 あなたは平均して1日どれぐらいの時間読書しますか。

2時間以上	7人
1～2時間	20人
30分～1時間	36人
15分～30分	62人
15分以下	53人
読まない	23人

3回目



令和5年度 1回目

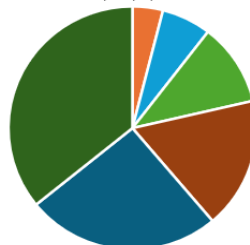


一日に読む時間は、15分～1時間程度の生徒が多いことがわかる。第一回目のものと似た結果となっているが、残念ながら学校で読書タイムがあるにもかかわらず「読まない」を選択した生徒が多くなった。

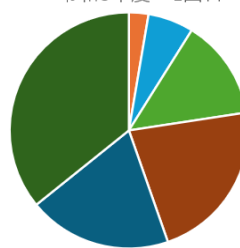
3 学校での読書以外に、あなたは平均して1日にどれぐらいの時間読書をしますか。

2時間以上	8人
1～2時間	13人
30分～1時間	22人
15分～30分	35人
15分以下	51人
読まない	72人

第3回目



令和5年度 1回目



学校の読書以外となると、半数以上が30分以下となる。また、読まない生徒が全体の3割を占めている。このことを考えると、読書時間のほとんどは家庭でというより学校の読書タイムに限られているのではないかと思う。

4 あなたは、スマートフォンやタブレットなどで電子書籍を読みますか。

読む	44人
ときどき読む	57人
読まない	100人

第3回目



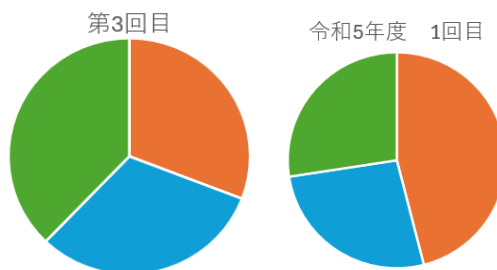
令和5年度 1回目



第1回目のものより、読む・ときどき読むの人数が増えていることがわかる。読書が好きという児童・生徒が紙媒体の本より電子書籍を選び始めていることが推測できる。

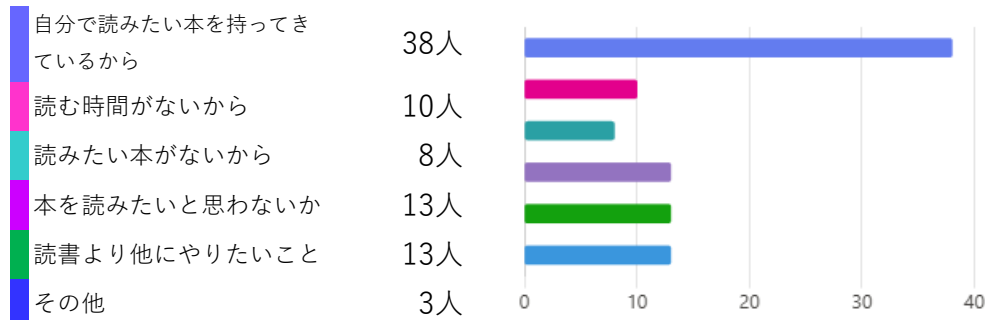
5 あなたは学級文庫の本を過去2ヶ月の間に読みましたか。

2冊以上	62人
1冊	63人
読んでいない	76人



1回目のアンケート結果より、学級文庫の本を選ばない・読まない児童生徒が増えている。

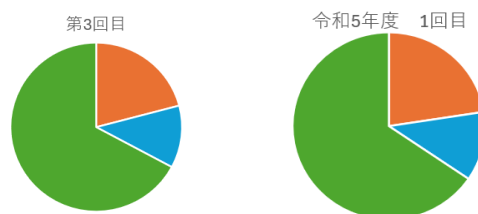
6 質問5で「読んでいない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか。



質問5, 6を合わせて考えると、学級文庫は読めていない生徒も自分の興味のある本を準備できていることがわかる。第1回目のアンケートと比較しても、読書に対する興味関心が高まり、自分で選んだ本を読みたいと考える児童・生徒が増えているのではないだろうか。

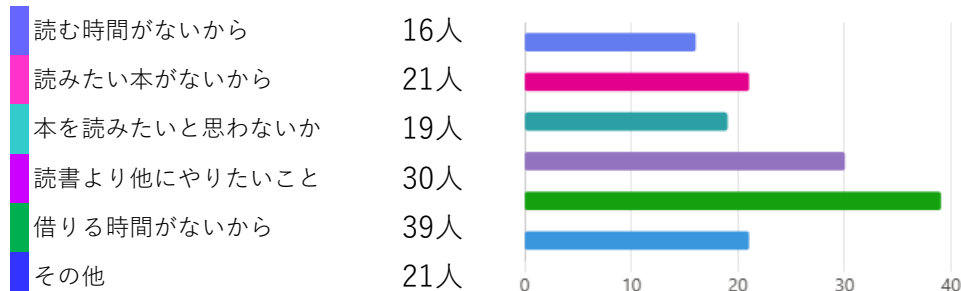
7 あなたは学校の図書室で、過去2ヶ月の間に本を借りましたか。

2冊以上	42人
1冊借りた	24人
借りていない	135人



依然として、図書室の利用の少なさがうかがえるが、2割の児童生徒が利用していることには変化はない。

8 質問7で「借りていない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか。



質問7, 8を合わせて考えると、学校内で借りる時間や読む時間を物理的に確保することで、読書推進につながるのではないかと推測できる。

9 あなたは「あさご森の図書館」で、過去1年の間に本を借りましたか。

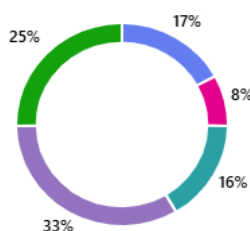
2冊以上	62人
1冊	23人
借りていない	116人



アンケート結果としては、「あさご森の図書館」で本を借りていないという生徒が増えてしまっている。しかし、図書館を利用する数は増えているようである。

10 質問9で「借りていない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか。

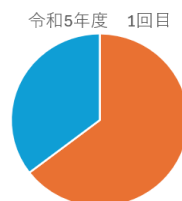
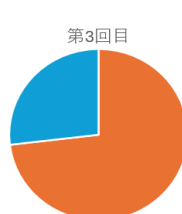
読む時間がない	21人
読みたい本がない	10人
本を読みたいと思わない	20人
読書より他にやりたいこと	41人
その他	2人



あさご森の図書館の利用は増えているが、本を借りた生徒が増えていない。この現状は家に帰ってしまうとゲームやスマートフォンなど、読書以上に興味のあることに時間を費やしていることが推測できる。

11 あなたは「あさご森の図書館」が作成し、学校で配布している本の紹介リーフレット「もう読んだ？」を知っていますか。

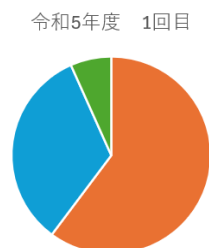
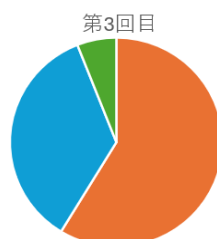
知っている	147人
知らない	54人



知っていると答えた児童・生徒が3/4に増えた。2年間にわたって行ったこの推進活動において、「あさご森の図書館」との連携も増え、図書館に興味関心を持った児童・生徒が増えたことを意味していると考えられる。

12 あなたには、好きな本がありますか。

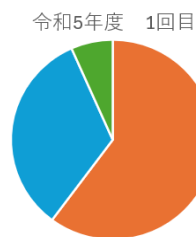
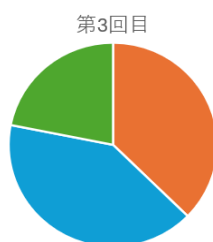
たくさんある	118人
1冊ある	71人
ない	12人



数値に大きな変化はなく、9割以上の児童生徒に「好きな本がある」ということから、「本」が身近なものであることがわかる。

13 あなたは、人に薦めたいと思う本がありますか。

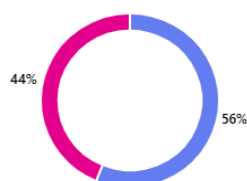
たくさんある	75人
1冊はある	82人
ない	44人



「薦めたい」と思う本を、すでに薦める機会（ビブリオバトルやポップ作成など）を多く得たことも減少の原因の一つではないかと思われる。

14 あなたは、この2年間ポップを読んだり、人に薦められたりして、読んでみようと思った本がありましたか。

あった	113人
なかった	88人

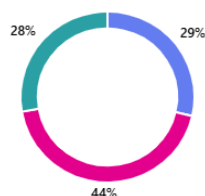


令和5年度
「あなたは、人に本を薦められたら読んでみようと思いますか」



15 質問14で「あった」と答えた人に質問します。その本を読みましたか。

何冊も読んだ	34人
1冊は読んだ	52人
読まなかった	33人



令和5年度の1回目のアンケートで「人に薦められたら読んでみようと思いますか。」という質問があった。その際、3/4の児童生徒が「読んでみる」と回答していた。今回のアンケートでは、質問の仕方は異なっているものの薦められた本を「何冊も読んだ」「1冊は読んだ」と回答する児童生徒が1回目の数よりも増えていることがわかる。